

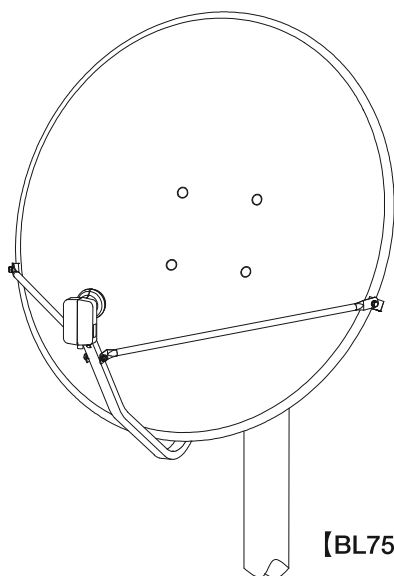
日本アンテナ

取扱説明書・施工説明書

このたびは日本アンテナ製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。

- ご使用前にこの取扱説明書と施工説明書をよくお読みください。
- お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取扱説明書



【BL75SRL1】

優良住宅部品

テレビ共同受信機器

右左旋円偏波用

BS・110°CSアンテナ

種類	仕様	BL型式	日本アンテナ型名
衛星放送用アンテナ BS・110度CS受信用	75cm型	SHA-75	BL75SRL1

目次

	説明の始まる ページ
表紙	
〔取扱説明書〕	
取扱上の注意	1
安全上の注意	2
使用上の注意	2
製品の保証	2
免責事項	2
アンテナの特長	3
性能規格	3
各部の名称	3
安全にお使いいただくために	3
メンテナンス	3
〔施工説明書〕	
関連法規	4
設置上の注意	4
構成部品	4
用意する工具およびテープ類	5
設置完成例	5
組立と取付方法	5
アンテナの調整方法	7
仰角と方位角	8
同軸ケーブルのつなぎかた	9
このようなときは	11
外観寸法図	12
お客様窓口	12



優良住宅部品 (BL部品) とは
一般財団法人ベターリビングが優良住宅部品認定制度
によって、品質、性能、アフターサービスなどに優れた
住宅部品を基準に基づき認定した住宅部品です。BL部
品にはさらに保証責任保険と賠償責任保険が付保され
ていますので、安心してご利用できます。

取扱上のご注意

アンテナの取付けや設置工事は、強度上の安全性確保のため、専門の技術者または、専門業者にご依頼ください。










安全上の注意

絵表示について







この「安全上の注意」、「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになるかたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解いただいたうえで本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	絵表示の例		△記号は注意（注意・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。			○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
				●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は一般指示）が描かれています。

警告

 禁止 送電線・配電線・電話線の近くに設置しない。 ●火災・感電の原因となります。	 接触禁止 雷が鳴りだしたら接続ケーブルや機器には触れない。 ●感電の原因となります。	 指示 高所作業は専門業者に依頼する。 ●けがや落下事故の原因となります。
 禁止 危険な場所に設置しない。 ・転落の危険性がある場所 ・強度不足な場所 ・人の通行の妨げとなる場所 ●けがや落下事故の原因となります。	 禁止 悪条件下で作業しない。 ・天候の悪い日 ・暗いとき ・足場の不安定な場所 ●けがや落下事故の原因となります。	 指示 ボルト・ナット、ねじは確実に締める。 ●ゆるみがあると、機器や工具が落下してけがの原因となります。 ●締め付けトルクが指定されている場合は、その指定のトルクで締め付けてください。
 禁止 アンテナや金具にぶら下らない。 ●けがや落下事故の原因となります。	 指示 作業時は落下防止対策をおこなう。 ●機器や工具はひもで結ぶ、ネットを張るなどして落下防止対策をおこなってください。機器や工具が落下してけがの原因となります。	 指示 梱包袋・シートは子供の手の届かないところに置く。 ●あやまって頭からかぶると窒息し死亡の原因となります。

注意

 禁止 アンテナや金具に洗濯物を下げない。 ボールなどをぶつけない。 ●機器が落下してけがの原因となることがあります。	 分解禁止 分解したり、改造したりしない。 ●けがの原因となることがあります。点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。	 禁止 悪条件の場所に置かない・設置しない。 ・不安定な場所 ・油煙や湯気の当たる場所（換気扇付近など） ・温度の高くなる場所（煙突付近など） ・温泉地や有害ガスの発生する場所 ●機器が落下して、けがの原因となることがあります。
 指示 台風や積雪の後は、点検をおこなう。 ●ゆるみや異常があると、機器が落下してけがの原因となることがあります。	 接触禁止 同軸ケーブルの芯線に触れない。 ●指に刺してけがの原因となることがあります。	 禁止 インパクトドライバーは使用しない。 ●ボルトが破損する可能性があります。

使用上の注意

- 雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着すると電波が弱くなり受信ができなくなることがあります。
- 長時間直射日光を受けたアンテナは熱くなっていることがあります。アンテナの設置、調整、掃除などをするときは素手で触らないでください。
- アンテナにはホース、高圧洗浄機等による放水をしないでください。アンテナが破損したり凍結したり、故障の原因になります。
- 同軸ケーブルを急激に曲げたり、引っ張ったりしないでください。故障の原因になります。
- 接栓は使用する同軸ケーブルに適したC15形接栓・防水接栓、同軸ケーブルがS-7C-FB1以上の場合はピン付き接栓をご使用ください。
- 鳥がとまる、害獣が乗ったりぶら下がったりかじったりすることで受信に影響がでることがあります。アンテナ上部、コンバーター周辺、アーム・ステー、ケーブル渡り部などに市販の鳥スパイクなどで、とまりにくい・登りにくい環境になるよう処置を施すことをお勧めします。

製品の保証

この製品の保証期間は、商品お引き渡しの日から5年間です。（コンバーター部分は2年間）保証期間内に取扱説明書・施工説明書記載事項に従った正常な使用状態で故障した場合、ご購入店またはお客様窓口にお申し付けください。

免責事項

- 下記の場合は保証期間内でも有償修理となります。
- ①住宅、事務所、学校、病院、ホテル又は旅館以外で使用した場合の不具合。
 - ②ユーザーが適切な使用、維持管理を行わなかったことに起因する不具合。
 - ③メーカーが定める施工説明書等を逸脱した施工に起因する不具合。
 - ④メーカーが認めた者以外の者による住宅部品の設置後の移動・分解などに起因する不具合。
 - ⑤建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する当該住宅部品の不具合、塗装の色あせなどの経年変化または使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の現象。
 - ⑥海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合。
 - ⑦ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合。
 - ⑧火災・爆発事故・落雷・地震・噴火・洪水・津波など天変地異または戦争・暴動など破壊行為による不具合。
 - ⑨消耗部品の消耗に起因する不具合。
 - ⑩電気の供給トラブルなどに起因する不具合。

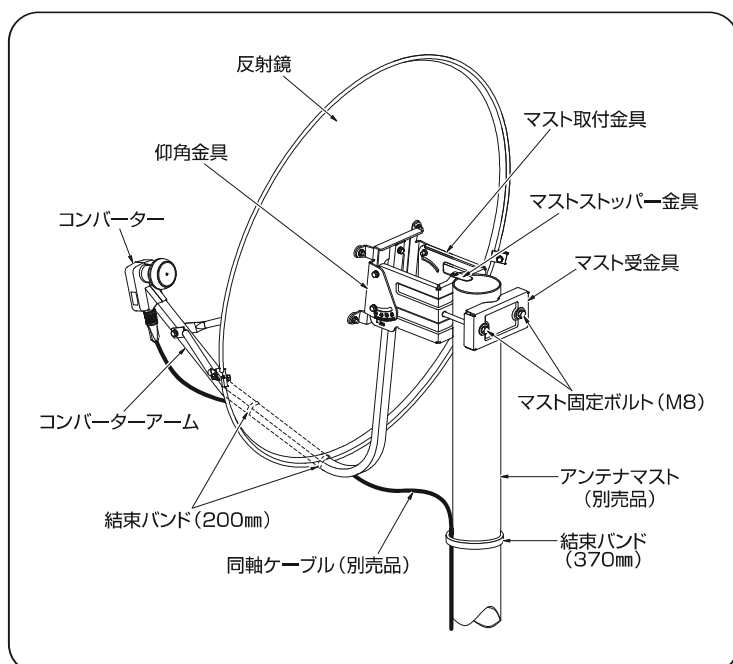
アンテナの特長

- 反射鏡にステンレスを採用。強風に十分耐える構造です。
- アンテナはマスト中間にも取付OK。既存のマストに設置できます。仰角調整は28°～62°です。マスト中間取付時は28°～55°です。
- マスト取付金具は、耐蝕性に優れた溶融亜鉛メッキ仕上げをしておりますので、安心してご使用いただけます。
- コンバーターは密閉構造で、耐久性に優れています。

性能規格

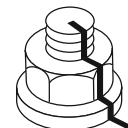
仕様	75cm型
型名	BL75SRL1
周波数 (GHz)	11.7～12.75
アンテナ利得 (dBi)	37.4以上
指向性 (主偏波特性・交差偏波特性)	ITU-R勧告B0.1213に基づき個別受信アンテナの主偏波成分および交差偏波成分に適合する事
受信偏波	右旋/左旋円偏波
G/T (dB/K)	14.1以上
雑音指数 (dB)	受信帯域内 (11.70～12.75GHz) で1.2以下
総合利得 (dB)	BS帯域：52±4 CS帯域：52±6
利得偏差 (dBp-p)	<ul style="list-style-type: none"> ● 右旋BS、右旋CS、左旋BS、左旋CSの各帯域内で4以下 ● 右旋BS・CSおよび左旋BS・CSの受信帯域内で6以下 ● 任意の受信チャンネル帯域内で1.3以下
出力電圧定在波比	受信帯域内で2.5以下
相互変調妨害比 (dB)	-70 (mW) 入力 の2信号において55以上
イメージ妨害抑圧比 (dB)	55以上
局部発振周波数 (GHz)	右旋円偏波受信用：10.678 左旋円偏波受信用：9.505
局部発振周波数の漂動	10.678GHz±1.5MHz以内 (-30～+50℃) 9.505GHz±1.5MHz以内 (-30～+50℃)
入力端子における局部発振信号漏洩 (dBmW)	-55以下
中間周波数 (MHz)	右旋円偏波：1032～2072 左旋円偏波：2224～3224
局発位相雑音 (dBc/Hz)	-55 (1kHz) 以下、-73 (5kHz) 以下、-83 (10kHz) 以下
電源	DC15V (ケーブル重量) 4W以下
受風面積 (㎡)	0.52
耐風速 (m/s)	60
適合マスト径 (φmm)	48.6～89.1
使用温度範囲 (℃)	-30～+50
使用湿度範囲 (%)	20～90
質量 (kg)	6.9
外観寸法 (mm)	幅780×高さ840×奥行971 (マスト径89.1 仰角40度の場合)

各部の名称



安全にお使いいただくために

設置の際に、締め付けた全てのボルト、ナットは定期的に取付状態の確認をしてください。そのために全てのボルト、ナットの締め後は確認用マーキングをおこなってください。定期点検の際にはマーキングのずれを確認してください。



メンテナンス

- いつまでも美しい映像をお楽しみいただくために、1年に1回は専門業者に受信状態、ねじ、ボルト、ナットのゆるみ、ケーブルの接続などの保守・点検をご依頼ください。
- 設置後、ボルトのゆるみなどがありますので、定期的な増し締めや取付状態の点検をおこなってください。

施工説明書

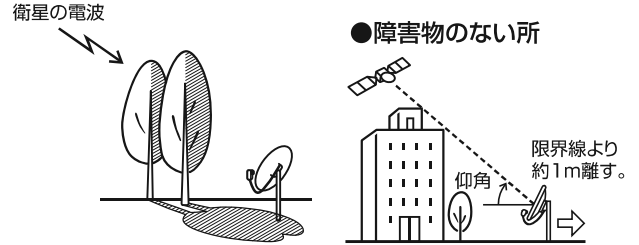
関連法規 この製品は放送法などが適用されます。

設置上の注意

下記の注意事項をお守りください。

①アンテナの設置場所をよく選ぶ

- 電波の到来方向が見渡せる場所に設置してください。受信方向(仰角・方位角)に山、ビル、金網、送電線、鉄塔、樹木など、障害物があると受信レベルに影響することがあります。陰にならない場所を選んで設置してください。



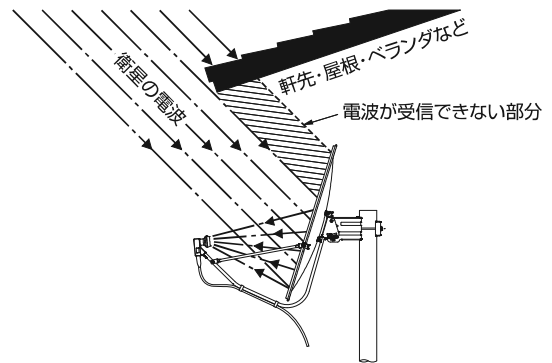
②気象条件による受信の劣化

- 強風や雪の影響を受けやすい場所、落雪など屋根からの落下物がある場所への設置はしないでください。強風ではアンテナの受信方向が動いてしまうことがあり、落雪ではアンテナが破損してしまうことがあります。
- 強い雨により受信できなくなる場合があります。



③アンテナの設置

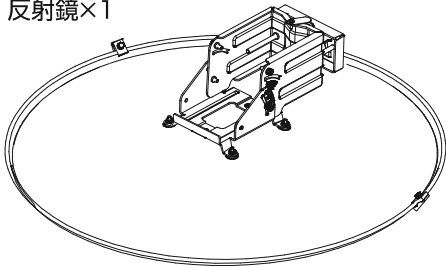
- このアンテナはUHFアンテナなどと比べて風の影響を受けやすい形状になっていますので、アンテナの取付けるマストおよび取付金具は、強度設計を実施し、適切な材料を選択したうえで、それぞれの説明書に従って施工してください。
- 軒下などにアンテナを設置する際、軒先、屋根、ベランダなどによって電波の一部が受信障害を受け、受信に悪影響をおよぼします。
- アンテナは重いので、開梱、持ち運びは必ず2人以上でおこなってください。



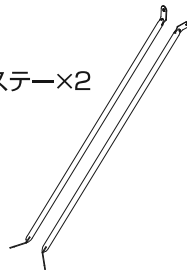
構成部品

下記の部品で構成されています。開封時に欠落部品がないかをご確認ください。

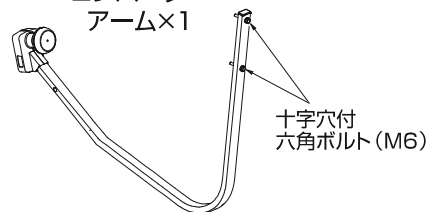
反射鏡×1



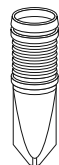
ステー×2



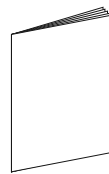
コンバーターアーム×1



結束バンド
長さ200mm×2
長さ370mm×1



防水キャップ×1



取扱説明書×1

●反射鏡側固定用

- 六角ボルトM6×12 2本
- スプリングワッシャーM6 2個
- ワッシャーM6 2個

●コンバーターアーム側固定用

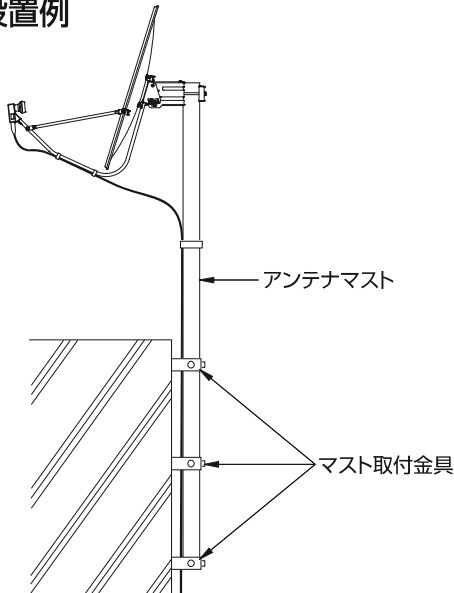
- 六角ボルトM6×40 1本
- スプリングワッシャーM6 1個
- ワッシャーM6 1個
- フランジナットM6 1個

用意する工具およびテープ類

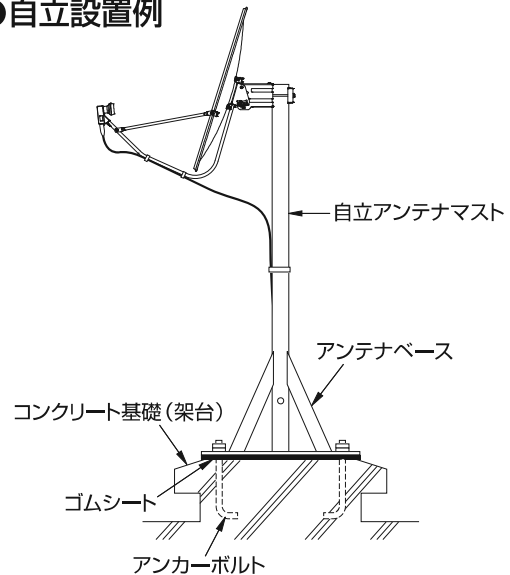
- 安全ひも(約1m) ●プラスドライバー(大) ●モンキーレンチ ●はさみまたはナイフ、カッター
- ペンチ ●ニッパー ●防水補助テープ ●ビニールテープなど ●トルクレンチ

設置完成例

●壁面設置例



●自立設置例



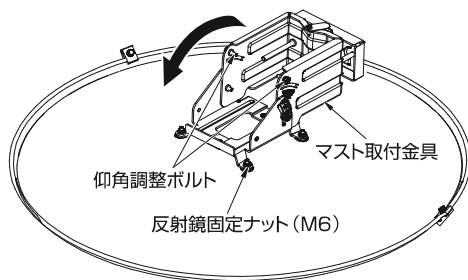
組立と取付方法

①取付金具の組立

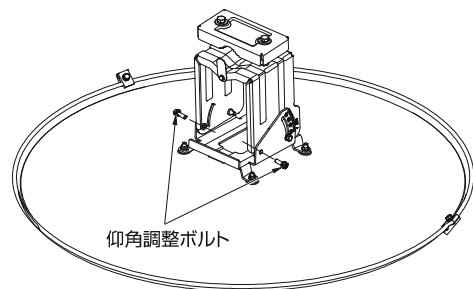
- ①反射鏡固定ナット(M6)4ヵ所が締まっていることを確認してください。
- ②一旦仰角調整ボルトをマスト取付金具からとりはずします。マスト取付金具を90°引き起こし、再度仰角調整ボルトを取付け、仮止めします。

●ナットの締付トルク

M6	4.7~5.1N・m
----	------------



裏側



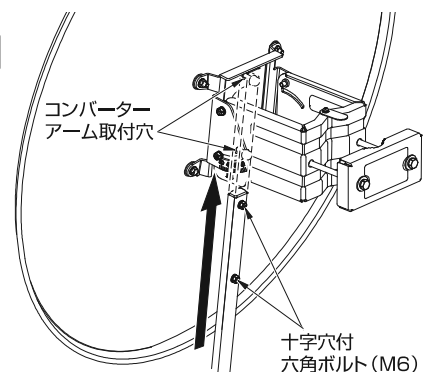
②コンバーターアームの取付

コンバーターアームを十字穴付六角ボルト(2本)でコンバーターアーム取付穴にプラスドライバーで締めた後、トルクレンチなどで指定のトルクで固定してください。

●ボルトの締付トルク

M6	4.7~5.1N・m
----	------------

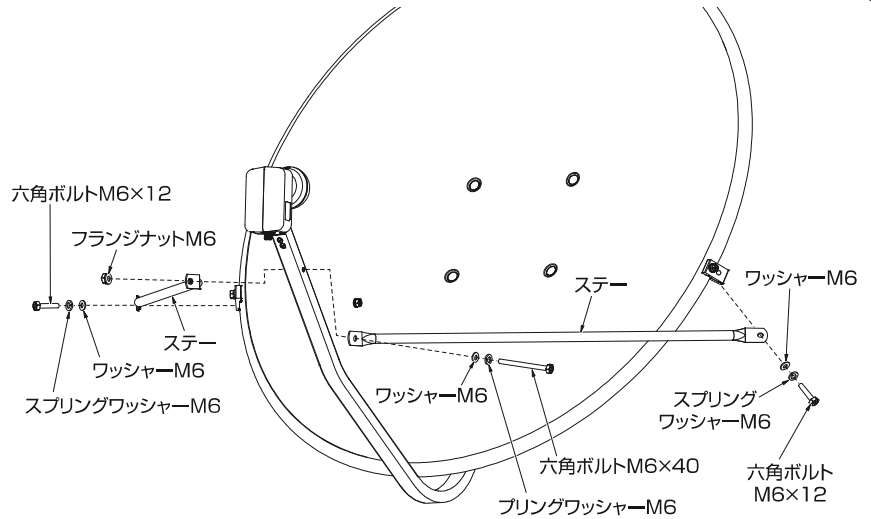
裏側



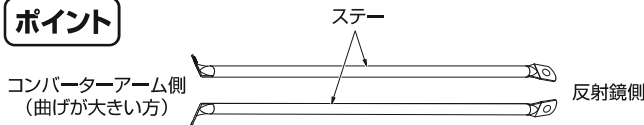
③ステーの組立

ステー2本を、反射鏡とコンバーターアームの左右に取り付けます。

- ①図を参照し、2本のステーを反射鏡側に六角ボルトM6×12とワッシャー類を使用して仮止めします。ステーの向きに注意してください。
- ②ステーの仮止めしていない側をコンバーターアームの穴位置に合わせ、六角ボルトM6×40とフランジナットM6を使用して仮止めします。
- ③左右のステーが仮取り付けできたことを確認し、指定のトルクでしっかりと固定してください。



ポイント

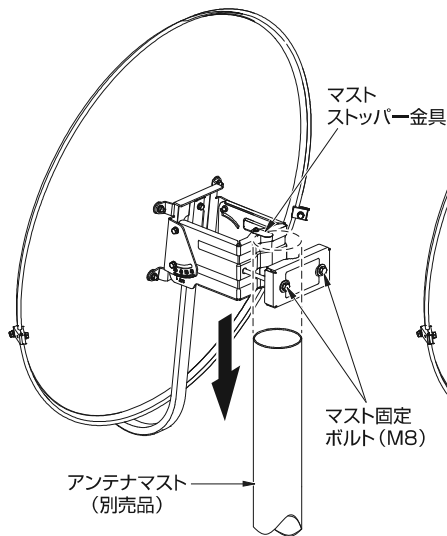


●ボルト・ナットの締付トルク

M6	4.7~5.1N・m
----	------------

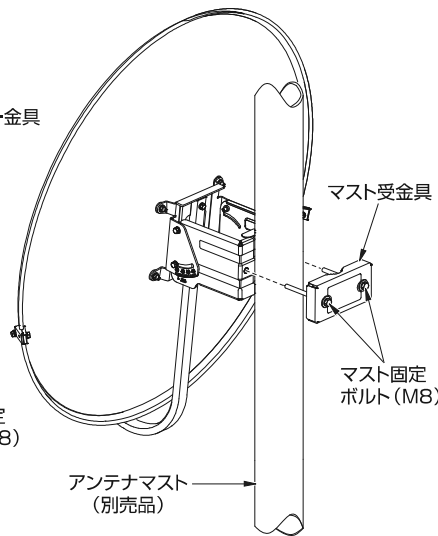
④マストへの取付

●先端取付の場合

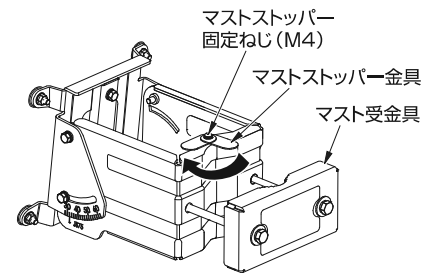


先端取付の場合は、マスト固定ボルト (M8) 2本をゆるめ、図のようにアンテナマストの上部からアンテナマストがマストストッパー金具に当たる位置まで挿入し、マスト固定ボルト (M8) で仮止めします。アンテナ調整後、ボルトは左右均等に指定のトルクで締め付けてください。

●中間取付の場合 (上から挿入できない場合)



アンテナマストの中間に取付ける場合 (上から挿入できない状態) は、マストストッパー金具の向きを90°程度かえます。マスト受金具をいったん取りはずし、アンテナマストの任意の位置で再度マスト受金具を取り付けてマスト固定ボルト (M8) で仮止めしてください。アンテナ調整後、ボルトは左右均等に指定のトルクで締め付けてください。



マストストッパー固定ねじ (M4) をゆるめ、90°程度向きをかえます。その後、マストストッパー固定ねじを指定のトルクで締め付けてください。

ポイント 仰角が55°以上の地域では、中間取付はできません。

ポイント 適合マスト径は、φ48.6~φ89.1mmです。
マストは、垂直にたててください。

●ねじ、ボルトの締付トルク

M4	1.9~2.1N・m
M8	12.7~13.1N・m

⚠注意 φ76.3mm未満のマストをご使用になる場合は、強度および安全を十分確認してください。マストが曲ったり破損の恐れがあります。

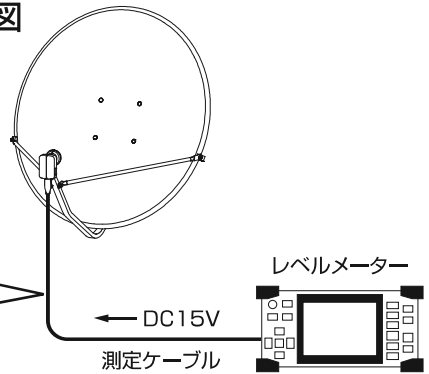
アンテナの調整方法

1 電界強度測定器 (レベルメーター) の接続

コンバーターとレベルメーターを右図のように接続してください。コンバーターの出力端子とレベルメーターを同軸ケーブルで接続し、レベルメーターのチャンネルを衛星受信チャンネルに合わせてください。操作方法は、お手持ちのレベルメーターの説明書をご参照ください。

●接続図

コンバーターの動作電源はレベルメーターから供給します。

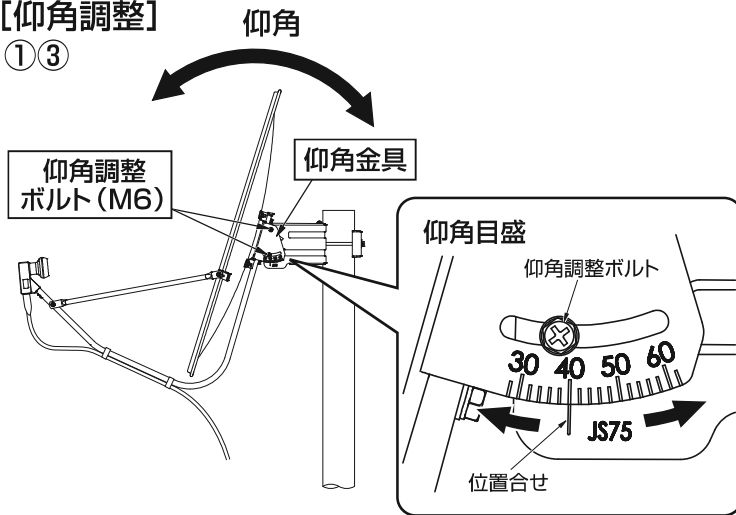


2 仰角、方位角の調整 仰角、方位角の調整は、衛星からの電波を受信しておこないます。

●別表 (P.8) の「主な都市の仰角と方位角(度)」を参考にして最寄りの都市の角度を求めます。

[仰角調整]

①③



①仰角の調整

仰角金具の仰角調整ボルト (M6) をゆるめ、仰角金具の側面にある仰角目盛に P.8 別表を参照し、最寄りの都市の仰角付近へ「位置合わせ」線を合わせて仮止めします。

②方位角の調整

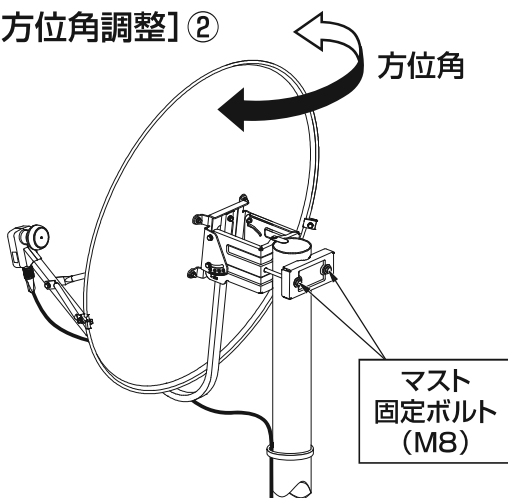
P.8 別表を参照し、最寄りの都市の方位角付近にアンテナの向きを合わせます。レベルメーターの表示を見ながらゆっくりとアンテナを左右に回転させ、メーターの表示が最大になる位置でマスト固定ボルト (M8) を左右交互、均等に指定のトルクで締め付けてください。

③仰角の微調整

「①」で仮止めした仰角調整ボルト (M6) をゆるめ、レベルメーターの表示が最大になる角度で再度締め付けます。指定のトルクで締め付けてください。

④受信状態を確認し、良好であれば調整完了です。もし、受信不良の場合は①から③を再度、繰り返してください。

[方位角調整] ②



●最後に取り付けや調整をおこなった全てのボルト、ナットが指定のトルクで締め付けてあることを確認して調整は完了です。

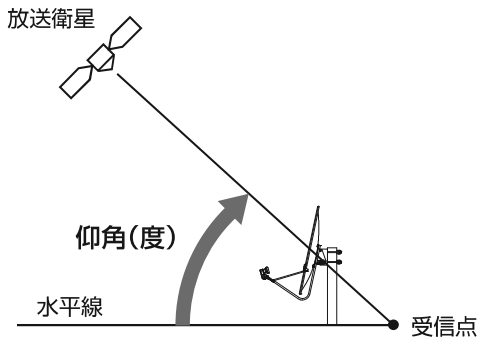
●ボルト、ナットの締め付トルク

M6	4.7~5.1N・m
M8	12.7~13.1N・m

仰角と方位角

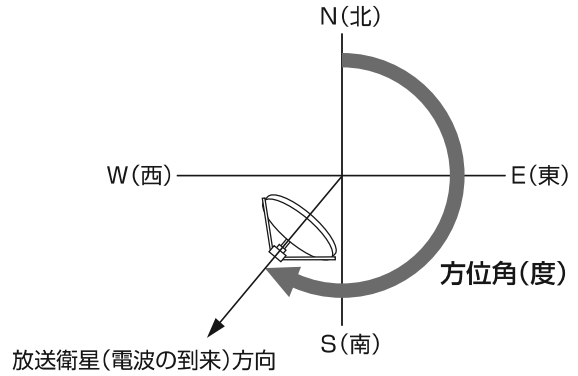
●仰角

(受信点から衛星を見上げた角度)



●方位角

(真北から東まわりに測った衛星の角度)



●主な都市の仰角と方位角(度)

都市名	仰角	方位角	都市名	仰角	方位角	都市名	仰角	方位角	都市名	仰角	方位角
北海道地方			福 島	35.9	223.9	浜 松	40.1	222.7	山 口	44.1	215.0
稚 内	29.1	221.0	郡 山	36.3	224.0	豊 橋	40.2	222.3	下 関	44.6	214.4
北 見	29.2	224.2	いわき	36.2	224.8	名古屋	40.2	221.4	四国地方		
釧 路	29.6	225.1	関東地方			岐 阜	40.1	221.1	高 松	42.6	218.3
旭 川	30.0	222.5	水 戸	37.0	224.8	津	40.8	221.2	徳 島	42.5	219.3
帯 広	30.3	223.9	宇都宮	37.2	224.0	近畿地方			松 山	43.7	217.1
岩見沢	30.8	222.2	前 橋	37.9	223.2	大 津	40.9	220.3	高 知	43.5	218.2
札 幌	31.1	221.8	千 葉	37.9	224.9	奈 良	41.2	220.4	九州地方		
小 樽	31.3	221.3	さいたま	37.9	224.1	京 都	41.0	220.2	北九州	44.7	214.4
室 蘭	32.0	221.8	東 京	38.0	224.4	大 阪	41.4	220.0	福 岡	45.2	213.9
函 館	32.6	221.7	横 浜	38.3	224.5	和歌山	42.0	220.0	佐 賀	45.6	214.0
東北地方			中部地方			神 戸	41.6	219.6	佐世保	46.0	213.2
青 森	33.4	222.3	新 潟	36.7	222.1	姫 路	41.8	218.9	長 崎	46.2	213.8
八 戸	33.2	223.4	長 野	38.2	222.0	中国地方			大 分	45.0	215.9
弘 前	33.6	222.2	松 本	38.7	222.0	鳥 取	41.5	217.8	熊 本	45.8	214.9
盛 岡	34.0	223.5	富 山	38.7	220.7	米 子	42.0	216.7	宮 崎	46.2	216.6
秋 田	34.6	222.2	金 沢	39.1	220.2	松 江	42.1	216.2	鹿児島	47.0	215.7
仙 台	35.3	224.0	福 井	39.8	219.9	岡 山	42.3	217.9	沖縄地方		
鶴 岡	35.6	222.5	甲 府	38.7	223.1	福 山	42.8	217.4	那 覇	53.6	215.9
山 形	35.6	223.3	静 岡	39.4	223.3	広 島	43.4	216.3	石垣島	57.4	211.6

同軸ケーブルのつなぎかた

1 同軸ケーブルの加工方法と接栓の取付方法

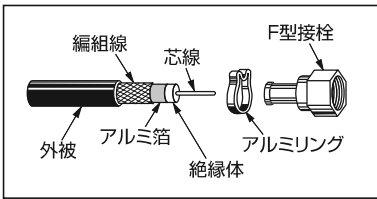
ポイント

- 芯線と編組線とをショートさせないように注意しましょう。
- 同軸ケーブルの加工は芯線や編組線をキズつけないように注意してください。また、このとき芯線が指に突き刺さらないように注意してください。
- 同軸ケーブルは、S-5C-FB、S-7C-FB相当以上のJIS規格品をお奨めします。
- 同軸ケーブルは3224MHzまでの周波数帯域で性能が保証されているものをご使用ください。
- 7C以上の防水接栓をご使用になる場合は、付属の防水キャップを使用せず、接栓締め付け後に自己融着テープ(別売品)を巻き、その上にビニールテープ(市販品)を巻いて防水処理を施してください。加工方法はご使用になる接栓の取扱説明書にしたがってください。

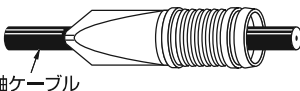
F型接栓(別売品)の取付方法

●各部の名称

(単位: mm)



※あらかじめ防水キャップをケーブルに通しておきます。

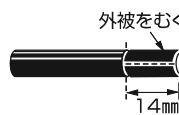


同軸ケーブル

※テレビ側への防水キャップの取付は不要です。

※5CケーブルはF型接栓加工した後も防水キャップを通すことができます。

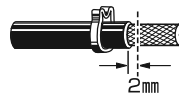
① カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。(深さ1mm程度)



② 外被をむき、アルミリングを通しておきます。



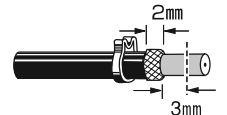
③ 外被から2mm程度はなして編組線をしていねいに切り落としてください。



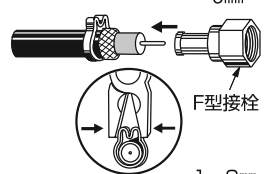
④ 編組線をめくりあげます。



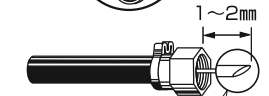
⑤ 編組線から3mmはなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。



⑥ F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりとつぶしてください。



⑦ 芯線の先端は1~2mm出し、斜めにカットしてください。



⚠注意

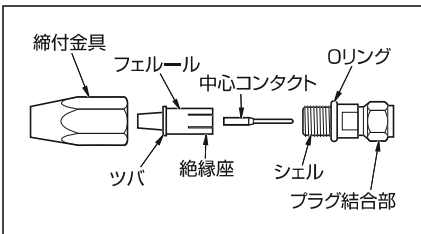
芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。

芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

F型防水接栓(別売品)の取付方法

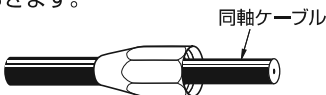
●F型防水接栓の構造

(単位: mm)



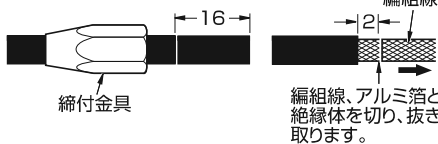
●同軸ケーブル(S-7C-FB)加工例

① あらかじめ締付金具をケーブルに通しておきます。



同軸ケーブル

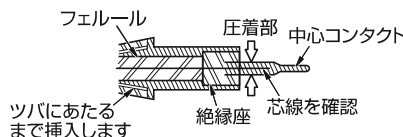
② 外被をナイフなどで取り除き、編組線、アルミ箔と絶縁体を指定寸法に切り取ってください。



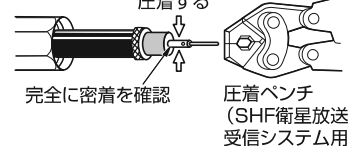
③ 編組線をめくりあげます。



④ フェルールを編組線とアルミ箔の間にさし込み、次に中心コンタクトを芯線に取付けます。できるだけ絶縁座に近づけて端子を圧着してください。



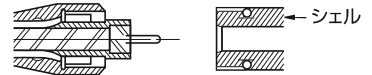
⑤ 圧着ペンチで芯線と中心コンタクトを固定します。



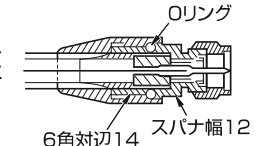
完全に密着を確認

圧着ペンチ (SHF衛星放送受信システム用)

⑥ モンキーレンチまたはスパナでシェルを締めつけます。



⑦ Oリングがかかっていることを確認します。



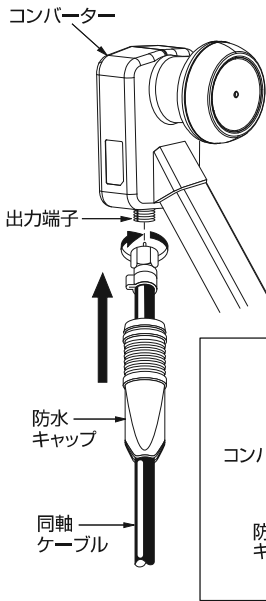
6角対辺14 スパナ幅12

●シェルの締付トルク

4.9N・m

②同軸ケーブルの接続と防水処理方法

(レベルメーターの接続調整後に実施)



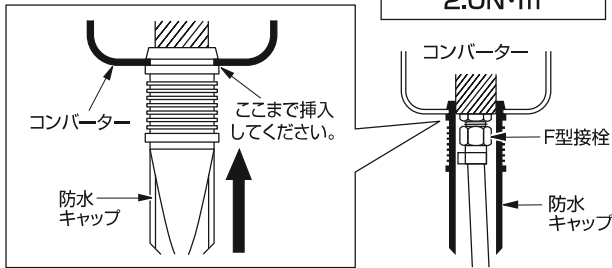
同軸ケーブルをコンバーター出力端子に接続し、指定のトルクで締め付けた後、防水キャップを下図のようにしっかり挿入して完了です。



注意 F型接栓の締め付けが弱いと受信不良の原因となり、強すぎるとコンバーターを破損することがあります。

●F型接栓締め付トルク

2.0N・m

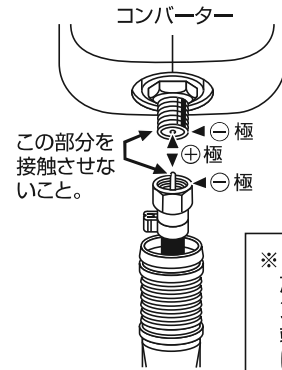


ポイント

防水キャップ内に水が溜まると、ショートなどの受信不良の原因になります。防水キャップは水が抜ける形状になっていますので、下端には、ビニールテープを巻かないでください。

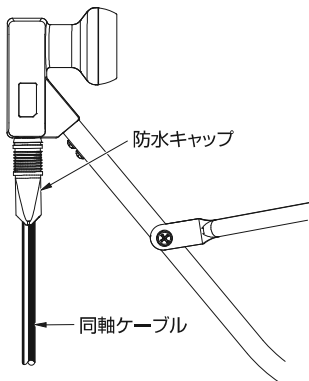
ポイント

- 安全のため、接続終了まではチューナーの電源プラグを抜いておいてください。
- 同軸ケーブルをアンテナに接続する際には、コンバーターへのアンテナ電源は必ず「オフ」にしてください。電源が「オン」の状態ですとショートさせますと、チューナーなどからコンバーターへの電流が、安全装置により自動的に停止したり、再設定が必要になる場合があります。



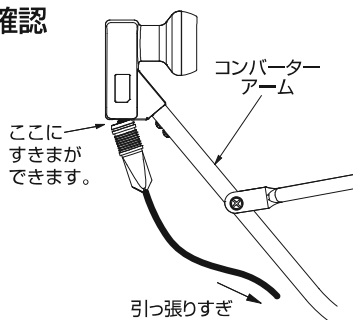
※同軸ケーブルの芯線(⊕極)をコンバーター出力端子外側の⊖極に接触させるとショートします。

③同軸ケーブルの固定方法



- ①同軸ケーブルは防水キャップが折れ曲がらないように固定してください。
- ②同軸ケーブルは結束部からたるませるように固定してください。
- ③同軸ケーブル固定後、防水キャップにすきまができていないか、はずれていないかご確認ください。

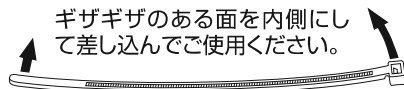
③確認



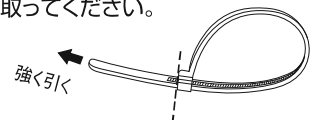
防水キャップを曲げると、すきまから水が入り、映りが悪くなる場合があります。

●結束バンドの使用方法

ギザギザのある面を内側に差し込んでご使用ください。



バンドの余りは点線の位置でニッパーなどで切取ってください。



このようなときは

修理を依頼される前に下記のことをお確かめください。

このようなとき	対 策
テレビで確認したら画像も音声も出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナの向きがズれていないか、ご確認ください。 ●同軸ケーブルが正しく接続されているか、ご確認ください。
テレビ画像にノイズが現れる	<ul style="list-style-type: none"> ●アンテナの向きがズれていないか、ご確認ください。(雨、雷雲、積雪などによる電波の減衰も考えられます。強風時のアンテナの揺れによる場合もあります。) ●同軸ケーブルの劣化も考えられますのでご確認ください。

上表に従って調べていただき、直らないときは、販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときには次の内容をご連絡ください。

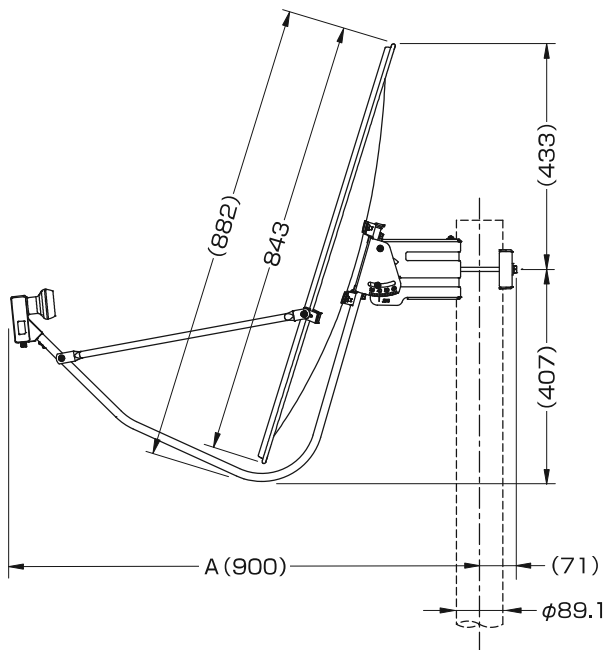
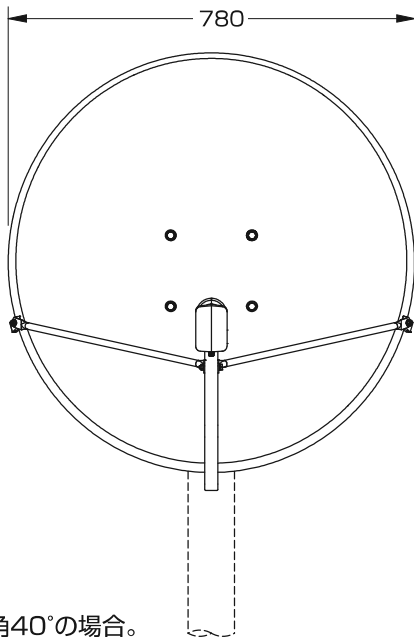
ご 氏 名		型 名	
ご 住 所		お買い上げ年月日	
電 話 番 号		故 障 内 容	なるべく詳しくお知らせください。
製 品 名	BS・110°CSアンテナ		

- 当社の定める施工説明を逸脱しない方法で据付工事に不具合(瑕疵)が生じ、施工者が無償修理や損害賠償を行った場合、BLマーク証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、一般財団法人ベターリビングのBL保険制度に基づき保険金が支給されます。
- BLマーク証紙の貼付(又は刻印等)がされている部品については、万一、当社又は設置工事施工者が瑕疵保証責任の責務を果たすことができなくなった場合、これに代わる措置が同財団から受けられます。
- BL保険制度については、同財団のホームページ(<http://www.cbl.or.jp/>)をご覧ください。なお、BL保険制度に関する質問は、同財団(TEL03-5211-0680)でもお受け致します。

外観寸法図

[BL75SRL1]

単位：mm



- 本図は、アンテナ仰角40°の場合。
- 適合マスト径はφ48.6～φ89.1mm。
- 仰角可変時のアンテナ取付マストの中心からコンバーターまでの寸法。(目安)

	最小仰角	最大仰角
A寸法 (mm)	(864)	(907)
仰角 (°)	28.0	62.0

お客様窓口



0570-091039

ご利用時間 9:00～12:00 13:00～17:30
(土・日祝祭日・弊社休業日を除く)

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

日本アンテナ株式会社

本社/〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8

ホームページアドレス <https://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。
7129571 2023年11月